

—迷い無く問題ぶち当たりできるには、一つ**真実確信**以外にあるまい!! — '09/9/13.

今後の世界と日本は過去経験のない歴史域に否応なしに突入、鳩山首相もオバマ大統領も、経済苦境下経営者も勤め人市民も皆が苦しいだろう。過去累積膨大な**矛盾**(超金融負債&温暖化ガス蓄積負債)が**一気噴出**の状況であり、何らかの**相転移**(不安定破滅化、また別次元安定化)の二つに一つだろう。となれば、誰もが何らかの**飛躍決断**に迫られるものだ。

[1]:現状世界は人類歴史上最大の分岐点(絶滅か、生存か?)=最終ゲーム!

プリズンプラネット(監獄惑星/米国)と言う辛口批評サイトがある。そこに END GAME という書籍紹介がある。現状趨勢を推し進めるのは**破滅策謀(優生主義淘汰思想)**の道であり、2050年までに人類80%が絶滅、エリート20%が生き延びるという話らしい。これは Jucelino 氏の 2043年破滅予言にも重なる。従来生活圏にある人々一般にすればまさかまさかの SF 世界に聞こえよう。だが現実は小説以上である事が筆者のこの 1.5 年情報検索&解析で確信できた。この破滅は言わずと知れた資本主義大演出とその結果の化石エネ過剰消費結果の**気候暴走破滅**、だがこの END GAME 論説は間違いである。なぜならば破滅は**全球炎熱地獄化**、残存するは熱細菌程度になるからだ(**正帰還過程**では原因消滅まで指数関数急上昇で停止しない)。彼らの当初計算には**北極海底メタン大破滅**が勘定になかったのだ<<最近10年の知見>>。炭素自然排出<炭素自然吸収が信頼可ならば、実は悪魔との敗戦濃厚チェスゲームには**大逆転一手**がある。この報告趣旨は皆がその賭けに乗る事への説得以外にない。

[2]:大蛇に遭遇したカエルは身動きできない!、だが飛躍で救済機会があるでないか!!!

言葉もでないと言う異常状況が世にはある。未経験の火急危機だ、過去経験内容ならば人は相応の判断がある。だが未経験超異常ゾーンとなると状況は一変。今、為政者も経営者も市民の皆が口をつぐんでる大蛇眼力恐怖の超問題複数がある(鳩山-Obama 政権、共に同じ)。従来常識とは飛躍の大蛇眼力恐怖で動けてない、だがそれでよしなどとも思えない。巨大大蛇の前に一匹カエルでは勝ち目はあるまい。だが話は全く大逆転で、**大蛇の方こそが一匹なのだ**。だがカエルには一斉同期して意思交換と飛躍決意の妙案があるのに。その励起源は**真実真理の真偽確認**と広報である。これが人を確信-励起飛躍できるのだ。

(1)二酸化炭素排出 80%以上(ラクイア G8 先進国間会合での認識)。

(2)悪化勢力根源たる皇室、王族-ロックフェラ-CIA-軍産複合体のナチス極右支配。

(国家国民は優生貴族の搾取対象)。

☞:日本では常識の公保険が米では生活自助思想保守派(実態は医療産業特権護持)で困窮とか、更に旧ナチス政権下での民主化勢力根絶の為の市民タレコミ通報制度が今米国で浮上、経済困窮市民に報奨金とか、暴動鎮圧軍隊(FEMA)も配備とか、米国の政治言論統制は日本以上なのです。だから...